

# 安全データシート

## (SDS)

### 製品及び製造者情報

製造者名 一般社団法人日本粉体工業技術協会  
住 所 〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181  
第5キョートビル7階  
担 当 部 署 粉体工業技術センター 製造事業部門  
電 話 番 号 075-354-3583 F A X 番 号 075-352-8530  
E - m a i l : testpowders@appie.or.jp  
連 絡 先 同上

作 成 日 2015年 6月 18日  
改 訂 日 2025年 6月 18日

製品名 (化学物質名) JIS 試験用粉体1の12種 (カーボンブラック)  
SAP 比表面積検定用粉体の2種 (カーボンブラック)  
SAP 比表面積検定用粉体の3種 (カーボンブラック)

### 危険有害性の要約

#### [GHS分類]

物理化学的危険性	分類結果
火薬類	該当しない
可燃性ガス	該当しない
可燃性・引火性エアゾール	該当しない
酸化性ガス	該当しない
高压ガス	該当しない
引火性液体	該当しない
可燃性固体	該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	該当しない
自然発火性固体	高温着火
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	該当しない
金属腐食性物質	分類できない

環境に対する有害性	分類結果
水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない

健康に対する有害性	分類結果
急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: ガス)	該当しない
急性毒性 (吸入: 蒸気)	該当しない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない

生殖細胞変異原性	該当しない
発がん性	区分2 (GHS) 第2群B (日本産業衛生学会)
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1 (GHS) 第2種 (呼吸器) (日本産業衛生学会)
誤えん有害性	分類できない

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル



#### 危険有害性情報

危険性 : 床にこぼれた場合、舞い上がる恐れがある。可燃性の粉じんで、粉じん爆発の可能性が考えられるが、爆発の激しさが弱い粉じんに分類される。

有害性 : 粉じんを長時間吸い続けると呼吸器系疾患の原因となる恐れがある。粉体が皮膚に付くと、まれにかぶれる事がある。

#### 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分: 単一製品  
 化学名又は一般名: カーボンブラック (鉱物系)  
 化学式、含有量 : C , 100%  
 TRTP : 該当しない  
 CAS No. : 1333-86-4  
 官報公示整理番号: 化審法 (5)-5222・(5)-3328

#### 応急措置

吸引した場合 : 直ちに、新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。気分が悪い場合は医師の診断を受ける。  
 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で数分間洗眼する。痛みや違和感が持続する場合は、医師の診断を受ける。  
 皮膚についた場合 : 直ちに水で数分間洗い流すか、クレンジングクリームを塗り、タオルで拭き取る。かぶれや炎症を生じた場合は医師の診断を受ける。  
 口に入った場合 : 多量の水を飲んで、吐き出す。気分が悪い時は医師の診断を受ける。

#### 火災時の措置

本品の燃焼は緩慢であり、火炎は出ない。消火には時間がかかる。  
 消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類  
 使ってはならない消火剤: 棒状放水  
 特有の危険有害性 : 火のついた粒子が舞い上がることがある。  
 消火を行う者の保護: 周辺の火災に応じて、適切な保護具 (防じんマスク、保護メガネ、空気呼吸器、防護服 (耐熱性) 等) を着用する。

#### 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 状況に応じて、保護具 (マスク、保護メガネ、ゴム手袋等) を着用して漏出物の吸引、眼に入ったり、皮膚への接触を避ける。  
 環境に対する注意事項: 粉じんの飛散や、粉体の河川への流出を防止する。  
 回収: 真空掃除機で捕集したり、床面の粉体は掃き集めたり、濡れたモップで拭き取る。集めた粉体は密閉できる容器に回収する。

#### 取扱い及び保管上の注意

換気 : 多量の粉じんが発生するおそれがある時は、全体換気装置や局所排気装置のある場所で作業を行う。  
 取扱い : 飛散させないように、静かに取扱う。吸引したり、眼や皮膚に接触する恐れがある時には、保護具 (マスク、保護メガネ、ゴム手袋等) を着用する。  
 保管 : ふたのできる密閉容器に入れ、常温常湿の屋内に保管する。

#### ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 3.0 mg/m<sup>3</sup>  
 許容濃度: 吸引力粉塵 1 mg/m<sup>3</sup>

総粉塵 4 mg/m<sup>3</sup>

設備対策：粉じんの飛散の可能性がある場所には局所排気を設け、許容濃度以下にする。局所排気は外部へ飛散しないように、集じん設備を設ける。

保護具：【呼吸用保護具】：適切な防じんマスクを着用すること。

【保護眼鏡】：状況に応じ防じん保護眼鏡を着用すること。

【保護衣および保護手袋】：状況に応じ保護衣及び保護手袋を着用すること。

衛生対策：取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。

---

物理／化学的性質	外観等	： 黒色の粉体、無臭	粒子密度	： 1.7～1.9 g/cm <sup>3</sup>
	融点	： 355℃	自然発火温度	： 500℃超
	溶解度	： 水に不溶		

---

安定性及び反応性	引火点	： データはない。
	着火性	： 危険物第2類確認試験「小ガス炎着火試験」で着火せず。 着火温度は、一般には290～520℃である。 150℃以上の温度で長時間放置すると蓄熱で着火することがある。
	安定性	： 不燃性、熱・光・衝撃に対して安定。
	反応性	： 水とは反応しないが、水と混ぜ、乾燥させると固化する。
	粉じん爆発性	： 燃焼時の最大圧力上昇速度から求めた爆発クラスのカテゴリでは「クラス1：爆発の激しさが弱い粉じん」
	爆発下限濃度	： 125 g/m <sup>3</sup> (爆発性評価は低) 水が存在する場合、金属腐食を起こすことがある。

---

有害性情報	急性毒性（経口）	： ラットLDD値>8000mgの情報が「分類できない」とした。
	急性毒性（経皮）	： 有用なデータがなく、「分類できない」。
	急性毒性（吸引、粉じん、ミスト）	： 有用なデータがなく「分類できない」。
	皮膚、眼に対する刺激性	： があり、長期間皮膚に付着した場合は炎症を起こす可能性の情報があるが、ヒト以外のデータなので「分類できない」とした。
	発がん性	： GHSでは「区分2」としたが、日本産業衛生学会（許容濃度の勧告）では「第2群B」とした。
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	： 短期ばく露影響の有用なデータがなかったため「分類できない」とした。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	： GHSでは、区分1とされている。 高濃度、長期ばく露では肺の影響があるとの情報もあり「第2種」（日本産業衛生学会）とした。	

---

環境影響情報	移動性	： 微細な粉じんは、空気中に飛散しやすい。
	蓄積性	： なし
	環境影響	： 局所排気等で外部へ排出すると粉じんによる環境汚染の恐れがある。
	その他	： 水生環境有害性（急性）は、本品は水に不溶であるので区分外、同（慢性）については有用な情報がなく、「分類できない」とした。

---

廃棄上の注意	飛散防止処置をした上で地方自治体の基準に従って廃棄すること。
--------	--------------------------------

---

輸送上の注意	運搬に際しては容器等に漏れの無い事を確かめ、転倒、落下、損傷の発生がないように積載し荷崩れの防止を確実に行う。	
	国連分類	： なし
	国連番号	： なし（本品は鉱物系のカーボンブラックである）

---

摘要法令	労働安全衛生法	： 労働安全衛生法施行令別表第9（名称等を表示・通知すべき危険有害物。令和7年（2025年）4月1日から労働安全衛生規則別表第2）カーボンブラック 粉じん障害防止規則第2条第3号、別表第1（粉じん作業）
	じん肺法	： 第2条第3号、別表（粉じん作業）
	PRTR法	： 第一種指定化学物質及び第二種化学物質含有 なし
	毒劇物取締法	： 該当物質の含有 なし
	内分泌攪乱物質	： 対象物質の含有 なし

---

## その他

- 参考文献
- ・労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質一覧  
(令和7年(2025年)4月1日施行分)(令和8年(2026年)4月1日追加分)
  - ・JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法(2019)
  - ・JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法  
ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(2019)
  - ・日本産業衛生学会:許容濃度等の勧告(2023年度 日本産業衛生学会)
- 

### [記載事項の取り扱い]

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも充分ではないため、取り扱いには充分注意して下さい。  
また、このSDSは、現在知り得る範囲において誠実に作成しておりますが、これをもってなんら保証するものではありません。  
ここに記載してある注意事項は通常の利用を前提としたものです。特殊な利用の場合は、用途・方法に適した安全対策を講じて下さい。

---

以上(全4頁)